

## 世界遺産のある都市の比較研究

—奈良を中心に—

文責：特別研究代表者 泉 拓 良

本研究は、平成13年度から開始した新しいプロジェクトである。平成13年度は研究計画策定のための準備期間であり、それにあたる総括班だけが活動した。したがって、ここでは、研究報告というのではなく、むしろ活動報告を述べることにする。

### 1. 本研究の主旨

本研究は、奈良大学に世界遺産学コースが設置されたことをきっかけとしている。世界遺産に関する研究は、世界的には急速に注目を浴びていて、ロンドン大学大学院にも、すでに世界遺産コースが設置されているほどである。しかし我が国では、世界遺産を紹介する膨大な写真集や書物、テレビ番組等があるにもかかわらず、世界遺産を専門とする教育課程はなく、専門的研究も限られている。奈良大学では、世界遺産学コースの設置と伴に、奈良大学教員有志を中心に『世界遺産を学ぶ人のために』、『世界遺産と都市』、『世界文学でたどる世界遺産・奈良』を出版し、世界遺産学の創設に向けて努力をしてきている。

このような本学内での世界遺産研究の流れの中で、以下の主旨で本研究は出発した。

#### 研究の主旨

世界遺産都市奈良を中心に、世界遺産が所在する都市の諸問題を比較・研究し、世界遺産の所在する都市の今後の課題を明にする。また、我が国で始めて設置された本学の世界遺産学コースを、側面的に支援する。

### 2. 本研究の目的

登録世界文化遺産は、人類にとって顕著な普遍的価値を持つ建築・遺構・遺跡であり、その保護が国際社会全体の任務といわれている。しかし、その指定は、現実的にはツーリズムと不可分な関係にあり、世界文化遺産の保護と利活用は一体となって、今日の問題を提起している。今日世界遺産は、文化遺産だけではなく、自然遺産を含め、登録に至るまでは学問的評価が重視されているにもかかわらず、登録後は行政中心に、観光資源としての側面が強調されてきた。しかしながら、観光化は一方において、世界遺産への悪い影響や、周辺環境の破壊を生み出し、本来の保護という視点との矛盾も生じてきている。さらに、登録を境に、世界遺産への研究が停滞する傾向も認められる。また、世界遺産の保護・伝承と登録に深く関わった住民運動が、

登録後どのように機能し、展開しているかも不明な点が多い。

以上の現状を踏まえて、上記の問題点、登録後の世界文化遺産都市の変遷を、伝統の継承と新たな保護策、環境保護、観光化の進展、研究の深化、住民活動等の視点から、非登録世界文化遺産をも考慮しつつ、世界的視野に立ち、各都市間で比較研究しようとするものである。

### 3. 平成13年度研究活動の概略

平成13年度におこなった研究活動をまとめると、奈良市「なら奈良館」での世界遺産「公開講座」の開催、国内調査、海外調査、学内における世界遺産講演会の開催の、4件であった。以下各件ごとに概略を示す。

#### 1) 世界遺産「公開講座」の開催

奈良市世界遺産室と共催で、なら奈良館にて、「世界遺産を巡って」をテーマに奈良大学の4教授が専門的な立場で講演した。

- |             |                |                   |
|-------------|----------------|-------------------|
| 平成13年9月30日  | 鎌田道隆教授 [歴史分野]  | 江戸時代における古代復元と世界遺産 |
| 平成13年10月28日 | 東野治之教授 [文化財分野] | 聖武天皇と大仏造立         |
| 平成13年11月11日 | 和田博文教授 [文学分野]  | 唐招提寺と近代文学         |
| 平成13年11月25日 | 藤原 剛教授 [環境分野]  | 世界遺産を通して見る環境問題    |

#### 2) おもな国内調査

世界遺産に登録されている白川郷と、昨年度に登録された沖縄での聞き取り調査を実施した。

##### ① 白川郷の調査 (担当芹澤知広講師) 平成13年11月1 - 4日

世界文化遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」の現状調査。白川村教育委員会事務局「世界遺産対策室」担当者、白川郷荻町集落の自然環境を守る会役員とのインタビュー調査。関連資料の収集・購入。

(収集・購入文献)

1. 白川郷文化フォーラム92 合掌造り 柿崎京一編 白川村教育委員会 1994
2. ひだ白川郷 こころの散策 白川文化フォーラム92実行委員会編 白川村 1993
3. ふるさと探訪 白川郷 白川村観光ガイド養成・テキスト作成協議会編 白川村 2000
4. 白川村建築様式参考図集 白川村教育委員会 1985
5. 世界遺産の合掌造り集落：白川郷・五箇山のくらしと民俗 飛越合掌文化研究会編 岐阜新聞社 1996

6. 合掌造りを推理する 宮澤智士著 白川村教育委員会 1995

② 沖縄の調査（担当實清隆教授）平成14年

沖縄の世界遺産新規登録への取り組みについて調査した。

（収集・購入文献）

1. 琉球王国の歴史－大貿易時代から首里城明け渡しまで－佐久田繁編著 月刊沖縄社 2000
2. 首里城－甦る琉球王国（財）海洋博覧会記念公園管理財団 2001
3. わたしたちの那覇市（平成13年度）三年 那覇市教育委員会編 2001
4. わたしたちの那覇市（平成13年度）四年 那覇市教育委員会編 2001
5. 世界遺産琉球王国のグスク及び関連遺産群 沖縄県教育庁文化課編「琉球王国のグスク及び関連遺産群」世界遺産登録記念事業実行委員会 2001
6. 沖縄の歴史と文化 沖縄県教育委員会編 2000

③ 奈良研究班（担当鎌田道隆教授）

（収集・購入文献）

1. 季刊 生命の島（屋久島の雑誌）屋久島産業文化研究所 3号（昭和61年）～4号、6号～58号（平成13年）
2. 鹿児島県屋久島の天然記念物調査報告（復刻版）田代善太郎著 屋久島産業文化研究所 1995
3. 屋久島、口永良部島 スクラップ・ノート No.1（昭和61年）～No.14 屋久島産業文化研究所

3) おもな海外調査、海外関連資料の収集

① 韓国世界遺産の現状調査（担当西山要一教授）平成14年8月26日～9月1日

韓国文化財研究所、文化財庁、慶州市文化財保護課、世界文化遺産の慶州歴史地区を訪ね実状を調査した。

（収集・購入図書）

韓国文化財庁 1999年 List of Maps and Drawings-Kyongju Historic Areas: Kochang, Hwasun, and Kanghwa Dolmen Sites

韓国文化財庁 2000年『世界文化遺産登録申請書』

慶州市 2000年『慶州歴史遺蹟地区保存管理計画書』

李 相秀 2001年『韓国の世界文化遺産』

② 中国世界遺産、および関連資料の収集（担当蘇徳昌教授、森田憲司教授）

・中国上海市復旦大学における世界遺産研究者とのインタビュー調査（平成14年）。

(収集・購入図書)

1. 空間環境生態学概論 上海交通大学出版社 2000
2. 文化遺産研究(集刊1) 上海古籍出版社 2000
3. 復旦大学大学院募集要項(大一分冊)(コピー版) 2002
4. 世界遺産図鑑 上海人民出版社(コピー版)
5. パンフレット(復旦大学文物博物館学系及び大学院募集要項)  
・中国の世界遺産に関する中国の新聞記事の収集とリストの作成。

4) 世界遺産に関する研究交流「特別研究」・講演会の開催

- ① 平成13年12月18日(火) 16:30~18:00(本部棟〈A棟〉4階中会議室)  
[講師]: 柴 鉄生氏(前上屋久町議会議長)  
[演題]: 世界遺産「屋久島」の登録と現在の課題  
[出席者]: 特別研究の総括班メンバー、教職員、学生
- ② 平成13年3月18日(月) 10:00~11:30(本部棟〈A棟〉4階中会議室)  
[講師]: 大野玄妙師(法隆寺管長)  
[演題]: 法隆寺と世界遺産  
[出席者]: 理事長(市川)、特別研究の総括班メンバー、教職員、学生